

【専門科目領域/専門基礎科目群/健康支援と社会保障】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
保健医療福祉行政論Ⅲ	NSF43_001	選択	1	4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
望月 宗一郎	301	s.mochizuki	水曜日 12:30～13:30		
授業の目的・概要	地域社会の中で生活する人々を支える保健医療福祉制度により、看護がサービスとして提供される仕組みや社会における看護の機能について理解し、それを裏付ける法律について学ぶ。 保健医療福祉行政論Ⅲでは特に、「地域包括ケアシステムの構築」をキーワードに、人々が住み慣れた地域でQOLの高い暮らしの継続を目指して、社会経済的变化を把握しながら多様な専門職や地域住民と連携・協働し、地域アセスメントに基づいた地域の健康水準を高める事業化、施策化、社会資源の開発、システム化を実践していく必要性とPDCAサイクルの重要性を学ぶ。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	本科目には、「保健医療福祉行政論Ⅰ」「保健医療福祉行政論Ⅱ」をしっかりと復習した上で臨むこと。また、「社会保障論」、「看護と関係法規」と特に密接に関わっており、連動させて学修することを勧める。				
教科書	標準保健師講座5 保健医療福祉行政論 / 編: 藤内 修二 / 医学書院 / 2025 クエスチョン・バンク 保健師国家試験問題解説 / 編: 医療情報科学研究所 / 2027 (4月発刊予定)				
参考書	国民衛生の動向2025/2026 / 厚生労働統計協会				
外部教材	なし。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	保健医療福祉行政の基本的な仕組みを理解し、説明できる。		HSU(1)(2)、NS(1)		
②	わが国の社会情勢の変化に対応した保健医療福祉の政策を説明できる。		HSU(1)(2)、NS(1)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーションから本科目の概要を学ぶ。 保健医療福祉行政の根拠について学習する。	講義	授業内容を教科書に照らし合わせて復習する。発表の準備をする。	2	
2	保健医療福祉制度の変遷について学修する。	講義・演習	授業内容を教科書に照らし合わせて復習する。発表の準備をする。	4	
3	保健医療福祉行政・財政の仕組みについて学修する。	講義・演習	授業内容を教科書に照らし合わせて復習する。発表の準備をする。	4	
4	地域保健行政と保健師活動について学修する。	講義・演習	授業内容を教科書に照らし合わせて復習する。発表の準備をする。	4	
5	医療提供体制と医療保障について学修する。	講義・演習	授業内容を教科書に照らし合わせて復習する。発表の準備をする。	4	
6	介護保険制度の概要と課題について学修する。	講義・演習	授業内容を教科書に照らし合わせて復習する。発表の準備をする。	4	
7	保健医療福祉の計画と評価について学修する。	講義・演習	授業内容を教科書に照らし合わせて復習する。発表の準備をする。	4	
8	本科目における重要ポイントの確認 これまでの学習を定着させる。	講義・演習	授業内容を教科書に照らし合わせて復習する。発表の準備をする。	4	
試	達成度評価・評価のポイントを参照				

【専門科目領域/専門基礎科目群/健康支援と社会保障】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	0	50	0	50	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	10	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	0	10	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	10	0	20	30
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	20	20
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点				フィードバックの方法	
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	グループ発表の場面において、どのように役割を担っているかを見ると同時に、正しい知識を相手にわかりやすく伝えられているかを確認する。				発表後に教員より総評を行う。	
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	毎回の授業への取り組み姿勢を評価する。 問題を自ら解決する力が養えているかを評価する。				教員より総評を行う。	
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他担当教員	なし。						
教員の実務経験	行政保健師としての勤務経験を有する。						
実践的授業の内容	担当教員の自治体での勤務経験を活かし、現場における具体的な事例を交えながら講義を進める。						
その他	講義には特別な理由がない限り毎回出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。 学生の理解度に応じ、講義の速度や順番を調整する可能性がある。 大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。 受講態度に問題がある場合、注意しても守れない場合は退室していただくこととなる。						